

■研修 (国語) 科 ヒット授業開発!
学び合いを生かす授業案を検討しよう

“学び合い”を生かすヒット授業案づくり

(国語) 科のヒット授業案

教科名 国語

単元・題材名

i P a d で漢字を調べる

授業のねらい・目標

読み書きの苦手な子どもも参加できる漢字調べ

(大まかな流れ)

1) 漢字パズル (個人作業)

B6サイズの紙に漢字1文字。これを4～5に切っておいて、生徒に提示する。

パーツを組み合わせて、セロテープで貼り合わせる。

早くできた生徒はゆっくりに子を手伝うこともある。紙を押さえる、テープを貼るなどのサポートもする。

2) できた漢字を黒板に貼る

「さあ、漢字を調べてみよう」

アプリ「漢字筆順辞典」を使って手書き入力し、漢字を調べる。うまく入力できない場合もある。横の子が「こう書いたらいいんだ」と教えてくれることもある。

調べた内容を確認する

部首・画数・書き順・音・訓・送り仮名・熟語

特に熟語については、どんなときに使う言葉かな、と生活に即して考えさせるようにする。身近な例をたくさん出させるようにする。

この授業の見どころ (学び合いをどう生かすかなど)

・個人の作業が中心になるが、どうやったら早くパズルが完成するか、調べる時の入力の仕方はどうしたらいいか、などちょっとしたコツを早くできた生徒が伝えてあげることができる。とよい。

・熟語を「どんなときに使うかな?」と考えさせていく。実際の場面がイメージできることを大切にする。発表できない生徒は、耳で聞いて覚えられるように、身振りや手振りも交えて、印象づける。

授業を担当する人

小島 直之